

事 案 調 書 (経営会議 経営調整会議 局経営会議)

(様式2)

開催日時 : 平成20年10月8日(水) 午前9:30 ~ :

事案担当課 : 博物館 (内線 750-8030)

件名	博物館ネットワーク計画「相模原どこでも博物館」の策定について(報告)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 充実
総合計画の位置付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	政策名	いきいきとした生涯学習社会をつくります 等		
	施策名	生涯学習機会の充実・郷土意識の醸成		
条例等制定・改廃 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	条例名等		情報システム関連 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
提 案 理 由	(背景及び必要性等) 博物館ネットワーク計画は、新市域の博物館、資料館等のネットワークを構築し、その連携を強化することによって、新市の一体感を醸成するとともに郷土意識と新市の魅力を一層高め、生涯学習機会の充実を図る新たなサービスを提供する博物館ネットワークを策定するもの。			
概 要	市立博物館を核(コア)に、津久井地域の資料館等を衛星(サテライト)施設とする。また市域の文化遺産や自然遺産、産業(観光)資産を「さがみはら発見の小径(ディスカバリー・トレイル)」で結び、市域全体を生きた博物館とする。 尾崎罎堂記念館を、津久井エリアのサテライトや文化遺産等を支援する副核(サブコア)施設として整備する。			
事案の具体的内容	<p>1 市域博物館施設の現状と課題</p> <p>市域には市営のほか、公営・民営など多様な公開施設や遺産などがあり、市民は設置者にこだわることなく、学習やレクリエーションに活用し生活をより豊かなものとしている。津久井地域の公開施設などは、独自のサービスエリアが想定されていたことから、設備や事業の連携が十分でなく、情報や機能などのネットワークを図ることにより、より効率的、効果的な市民サービスが必要である。</p> <p>2 相模原どこでも博物館の目標と機能</p> <p>1) 目標 市民が活用する博物館関連施設並びに自然と文化に関わる学習活動のネットワークを図り、市民との協働による魅力あるまちづくり「新さがみはら創り」に寄与する。</p> <p>2) 位置付け 新総合計画及び教育振興計画に位置付ける。</p> <p>3) 計画期間 平成21年度から平成31年度の11年間を目途とする。</p> <p>3 市民意見の募集結果について</p> <p>1) 広報さがみはら 平成20年6月15号募集 提出件数3件</p> <p>2) パンフレット配布による館内アンケート 平成20年7月から8月 回答177件</p> <p>3) 「尾崎行雄を全国に発信する会」の意見聴取 平成19年8月から平成20年8月の間、6回</p>			
事業スケジュール	<p>平成20年度 教育委員会にて計画策定と公表</p> <p>平成21年度 相模原どこでも博物館設置運営要綱策定 サブコア施設「尾崎罎堂記念館」再整備建築設計 モデルトレイルの整備</p> <p>平成22年度 サテライト、自然遺産、文化遺産の1次登録 サブコア施設「尾崎罎堂記念館」再整備建築工事 ネットワーク市民センター設計(常設展示大規模展示改修に含める)</p> <p>平成23年度 ネットワーク市民センター工事(常設展示大規模展示改修に含める) サブコア施設「尾崎罎堂記念館」展示工事</p> <p>平成24年度～31年度 さがみはらの文化遺産、さがみはらの自然遺産各10選、さがみはらの産業資産3選、新さがみはら発見の小径ルートの整備</p>			

<p>経費・事業対象その他</p>	
<p>事業実施にあたっての課題</p>	
<p>検討経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H17年11月 政策会議 博物館ネットワークは、各施設の役割を整理し、適切なネット構築を指示される。 ・H19年8月 20年度主要事業計画査定 「局選択事業―事業推進にあたっては博物館ネットワーク計画について庁議に諮る。施設整備の内容については、ネットワーク計画の中で検討する。」 ・H19年10月 主管会議 ・H19年11月 教育行政調整会議 「原案を了承する」…指示事項として、博物館で計画概要を公表し、市民の意見を求めること。それらの意見を踏まえて再度、サブコア施設等の整備方針を示すこと。 *博物館ネットワークの市民意見募集 ⇒H20年4月パンフ配布、市広報6月15日号 アンケート7～8月 ・H20年10月 教育局経営会議「原案を承認し、経営会議に報告する。」
<p>経営調整会議・主管会議での主な意見・結果</p>	<p>〔<input type="checkbox"/>経営調整会議 <input checked="" type="checkbox"/>主管会議 <input type="checkbox"/>局経営会議での主な意見〕</p> <p>○具体的にネットワークはどのような形か。 →パソコンでネットワークを組むという考えではなく、事業や学習活動の連携という意味になる。ニュースなどの印刷物やホームページの利用などという手段も考えられるが、本来的なネットワークは博物館活動になる。各施設で巡回展や関連展示、共同事業などを展開することにより、地域的な格差を緩和し市民であることを意識してもらえると期待している。</p> <p>○市営施設間のネットワークを実現してから次のステップに進むべきだ。 →まずは市の施設から着手し、公営、民営の協力を得られるところから連携を始め、その後の段階を踏んで進めていく。</p> <p>○ふれあい科学館でも相模川フィールド・ミュージアムという概念でネットワークを進めているが、もっと狭い範囲での連携となっている。今回の提案のネットワークは広すぎないか。またどこでも博物館の中のふれあい科学館の位置づけは。 →サブコア施設として会議への参加により、情報の共有化やネットワークにつながると考えている。また相模川フィールド・ミュージアムで考えられているネイチャートレイルはさがみはら発見の小径の一部として活用できる。</p> <p>○観光振興計画の中でも施設の整備に伴い景観協定まで考えているが、一緒にやっていけるのか。 →市民の資産や遺産の保存や学習活動などに関連し、さらには市民のネットワークも考えている。</p>
<p>〔<input type="checkbox"/>経営調整会議の結果〕 〔<input checked="" type="checkbox"/>主管会議の結果〕</p>	<p>原案を一部修正して、局経営会議に付議する。</p>